

吉林省檔案館
廣西師範大學出版社
編

日本關東憲兵隊報告集（第一輯）11

廣西師範大學出版社
• 桂林 •

目 录

关东宪兵团司令部思想对策月报(昭和十四年十二月二十五日) ······	〇〇一
关东宪兵团司令部思想对策月报(昭和十四年十二月三十日) ······	〇七六
关东宪兵团司令部思想对策月报(昭和十五年一月二十日) ······	一三九
关东宪兵团司令部思想对策月报(昭和十五年一月二十日) ······	二七三
关东宪兵团司令部思想对策月报(昭和十五年三月二十日) ······	三三三
关东宪兵团司令部思想对策月报(昭和十五年五月二十日) ······	四六七

驍憲萬第一二九一號

昭和十四年十二月二十五日



一、恩賜月報八將軍達ヲトシ翌月十五日迄ニ司令部
ニ申着タル如ク報告セシム度
六將軍月報ハ各隊上級ニ郭光復共相成度
大坂内並城ノ諸隊レフル隊ハ少不内表匪賊堵跡
樂同本門相成度

思

想

對

策

月

報

遠

學

(十

四

一

月

分)

參照(1)、總參照

參照

發送先

憲司（三）、憲司、朝憲司（三）、支憲司
中支憲司、波集憲、憲學、關各隊、教習隊
大後館（三）、關東局、治安部軍廳、同參務司
同參謀司、調查課、司法部、最高檢察廳
鐵委（二）、朝晉派

一、一般概況

二、國共並日共、蘇共ノ策動狀況

二

三、中共並抗日分子ノ策動狀況

八

四、共產主義思想宣傳譏知狀況

一

五、共產主義思想宣傳防衛狀況

一八

六、共匪其他罪狀ノ治安擾亂狀況

一〇

七、其他參考事項

三六

八、所見

一

附表

九、全滿匪賊概數表

八、全滿匪賊大隊三三〇〇（中國共產黨上級軍

九、全滿匪賊蟠踞要圖

一、一般概況

全溝總面數ハ大約三三〇〇（内鐵共面二千五〇、土面七五〇）ト推斷セラレ前
期ノ四〇一一〇ニ比シ約七二〇ノ機械ヲ承シアルハ全溝ニ敢行サレ
アル秋、冬季、修正工作ノ成果ニ因ルモノト判斷セラル

主要區圖ノ輸送地帶ハ

- ◎ 東邊溝地圖ニ抗聯第一路軍系共面約一四〇〇、土面約一〇〇〇
- ◎ 東北溝地圖ニ抗聯第二、三路軍系共面約八〇〇
- ◎ 北安、濱江、龍江等三路軍系共面約三〇〇、土面約二〇〇
- ◎ 黑龍江省南部地圖ニ共面約一〇〇、土面約一〇〇
- ニシテ彼等ハ越冬準備ノ爲何ニモ該溝築工ニヨル物資ノ搬運乃

至夜行列車、旅車等討伐隊ノ夜襲ヲ敢行スル事依然再びナル現行
ヲナシアルカ空襲ミリスル抜力勇猛果敢ナル討伐ニ其陣容ヲ紛碎
セラレ離合集散逃遁ラ尋トシアル現況ニ鑒ミ此ノ機ヲ逸セヌ而圖
ニ致命的打撃ヲ與フヘク討伐續行中ナリ

本朝中判明セル治安上主ナル事象ハ襲撃二三件、掠奪七八件、脅
迫二件、交戦八五件、人質拉致八件、入藤一件、入達一件、計一
九八件ニシテ前期ノ二六三件ニ比シ七五年ノ激減ヲ示シアリ

2. 蔊聯ヨリノ飛行機ゴム風船利用ニヨル數日連続略的文書宣傳ハ全
然其影ヲ潛メタルモ事実ニ准シ蘇聯ヨリ入拂スル不逞漢人ニヨル
蘇聯製抗日傳單人體内摄入ハ依然盛ニシテ今次秋季討伐出動中ノ
浦軍艦ノ叛變投降ヲ對象トスル士兵工作ハ頗る熾烈ナルモノアリ

3. 憲兵ハ前期以來全滿一齊ニ實施セラレアル日本軍警秋季討伐ニ協力一部ノ兵力ヲ之ニ配屬スル外思想對策重要據點ニハ夫々憲兵ヲ派遣シ討伐部隊ノ行フ沿標工作ニ則應スル思想工作ニ重點ヲ指向シ思想對策成果發揚ニ專念シアリヨリ後日滿洲文書宣傳ハ全本期中ニ於ケル憲兵獨自ノ檢舉者三六名ニ達セリニ示シテ、尙野副討伐隊ニ配屬中ノ長島工作班ハ撫松地區ニ於テ岳璽長以下一五四名ヲ投降歸順セシメ同地區ノ割期的治安肅正ヲ實現セリ矣ノモンハシ事件ノ停戰協定成立ヲ契機トシ在滿蘇聯各機關及一般滿洲人ノ對日感情ハ表面上著シク緩和セルカ如ク將來ノ日蘇國交調整上必スヤ好結果ヲ招來スルモノトシ兩國ノ平和政策ニヨル親交ヲ希求スル者激増ノ傾向ニアリテ此種情勢然易見ナリ

5. 前期以來全滿一齊ニ實施セラレアル日滿宣誓ノ秋季治安肅正工作ニヨリ一般的ニ國內治安々良況ニ向ヒツツアルモ未だ局部的ニハ樂觀ヲ許ササルモノアル現況ニ鑑ミ將來更ニ一般ノ徹底的治安肅正ヲ要スルモノアリ

二、國共並蘇共日共ノ策動狀況

1. 國共並日共ノ策動狀況

該當事項ナシ

2. 蘇共ノ策動狀況

本期間蘇兵ノ策動ト認メテアル容疑行動乃至容疑事象ヲ舉クレハ

左ノ如シ

(一) 大連蘇聯領事館ノ狀況

(4) 在大連蘇聯領事館ノ充實策動

在大連蘇聯領事ハ從來領事缺員代理領事之力事務處理ニ任シ
アリシカ最近專任領事ノ着任アリ又領員ノ增加及更迭ヲ企圖
シアルガ時局柄大連地方ニ對シ謀報其他ニ付キ重要視シアル
體左ナリト思考セラル

尙同領事館ニ於テハ獨蘇不可侵條約締結後ニ於テ頗ニ在連獨
逸領事館トノ連絡密接ドナリ蘇聯人、ドデューモフ、婦人服
販賣ブロトカーフ兩國領事館トノ連絡ニ利用シ且本名ヲシテ
在連白系露人ノ動靜並ニ日本側ノ對白系露人工作ヲ内偵セシ
ムル等本領事館ノ談判的策動ハ漸次激化ノ傾向ヲ示シアリ

(5) 在大連蘇聯代理領事ノ時局談

十一月七日革命記念日ニ際シテハ在連日本僑團及自國民有力者等五十五名ヲ招請シ記念祝賀會ヲ開催シ（從來祝賀會ハ

開催セス）

同席上代理事イサエフハ

○蘇國經濟ニ就テ現下ノ經濟建設發展ト婦女人ノ能力向上並ニ

産業ノ世界的優位性ヲ誇張シ

○平和政策ニ就テ歐洲戰前ノ英佛トノ關係ヨリ「ミコンヘン」

會議以來ノ歐洲情勢及蘇聯ノ獨逸提携ニ言及シ「バ見ヂツ

ク」小説ハ早晚蘇聯ノ援助ヲ受クルハ必然ナリ

○「ノモンハン」事件ノ停戰協定成立ハ日蘇國交調整上好

果ヲ齊テシ將來ノ平和政策ニ就テモ外務人民委員部長ハ第

- 果三點トノ不可免事約略論ノ用意アリ。人員委員選舉ハ當。
- 華盛頓シ支那事務ニ關シテハ、一釋ラモ發セス茲ニ歐州情勢ニ對スル其仰側人種愛ヲ攻撃ナリ。
- ① 並河屋敷暴動事館ノ狀況。
- ニ「ソ」華革命紀念日當日ニ於ケル領事ノ言動ニ「ソ」華革命紀念日當日ニ於ケル領事ノ言動。
- 十一月七日華洲屋「ソ」華領事館ニ於テハ革命紀念日當日、ハ日多忙多故不招待シ而宴時聚會ヲ開ケシ例年三十キ盛況、況フ屋シタルカ流ニ候事ヨーミンハ在涉「ソ」華人約五十名ニ關シテ心カラ之ヲ歎往シ各種樂座ヲ試ミタルカ其ノ席上、其の妻子等も同席セリ。
- 一九一〇年八各々ヲ保護シ日共「ソ」親善ニ國ル重責ヲ擔ヒ當。

地ニ赴任セルモ當初艦船ノ事件發生シ各位ノ苦痛ナル立場モ克ク知悉シアリテ爾來微力ヲ盡ケツツアリ最近日漸偏トノ接觸モ希々正常化シ近キ將來ニ於テ必ス日帝「ソ」無事ノ到來スルヲ確信スルモノナリ各位中ニハ先ニ本聲引導ヲ甲シ越アルモ現庄ニ於テハ何等之力必要ナガラン安否生業ニ勤マレンコトヲ希望ス一時的ノ苦痛ハ必ス忍ヒ大局的ノ信念ヲ抱懷セラルル様希望ス又「ソ」事ハ各位熟知ノ邊境大ナル發表ヲ盡ケ各國共ニ充分之ヲ認諾セラレアルモ決シテ油斷スヘキ時ニアラス

然レ共去ル「ノモンハン」軍艦ニ日本艦ハ赤軍ノ爲多

大ノ損害ヲ蒙リ逃ニ和平ヲ申及シタルヲ以テ我「ソ」
て、政府ニ日本ノ和平撫順ニ應シ日本ト同體聯トナリ時
來通商條約ヲ結ヒ當地ハ日湯「ソ」通商ノ基地タルヲ

予想セラレ大イニ御用スヘキ秋ナリ」

◎◎我領事館ハ在住自國兵ノ保護ニ當ルカ主要任務ナルニ依
リ將來諸君ハ旅券警替ノ時ノミナリス何時ニテニ自由
喫茶スル氣持ニテ茶館スヘシ

◎日満俄ハ在住蘇聯人ニ對シ白系轉變策ヲ講シアルカ諸君
ハ如何ナル最惡不利ノ立場ニ陷ルトモ歎シテ之ニ歴ヘヘ
カラス若シ轉籍セサレハ當局ノ彈壓加重シ引揚ノ止ムナ
キ狀況ニ至ラハ何時ニテモ其ノ旨當第ニ申田ラレ度常館

トシテハ直チニ「モスクワ」中央部ニ駐訓シ便宜處置ヲ
講スルガラン然シ前述ノ如ク日下我カ「ソ」側ト日滿側
トノ接觸好轉シ頗譲ニアルヲ以テ心配ナシト雖對日滿接
觸ハ充分慎重ニ考慮シ不測ノ事態惹起セハ直チニ領事館
ニ居出ラレ度

等ト記念日ニ對スル挨拶ヲ兼ネ時局談並在住「ソ」職人ニ

指示的言動ヲ洩シタリ

(二)十月三十一日ノ「ソ」聯外務人民委員モトフノ對日滿政綱演
說ニ對シ十一月九日瀋洲里蘇聯領事館員並「モ」鐵從業員間ニ

於テハ

(1)日「ソ」停戰協定ノ締結

(2) 國境糾定委員會ノ狀況

(3) 最近當地ニ於ケル日「ソ」驛係ノ正常化

(4) 胜日津「ソ」驛公館員ノ補充起任

諸問題ト對照シ日「ソ」兩國ノ關係ハ緩和セラレ必然近キ
將來ニ於テ親善化シ滿洲里ノ如キハ連商基地ニ復活スル度能性
アリト洩シ何レモそ日本演説ニ贊意ヲ表シ日「ソ」驛係ノ早
急正常化ヲ願望シツツアリ

(5) 滿洲里「ソ」駕領事ノ白系露人對策的言動

十一月十九日滿洲里「ソ」駕領事が「ミンハ館員其他ノ種々談
合ノ際白系露人ニ彈スル政策ヲ窺知シ得ル次ノ如キ言動ヲ洩シ